

「仮設住宅の再編等に係る子供の学習支援によるコミュニティ復興支援事業」

放課後子供教室の取組事例

地域全体で子ども達の安全と健やかな成長を支える「のだキッズセンター」の取組（岩手県 野田村）

取組の概要や経緯

子ども達が安心してさまざまな体験活動ができる機会を設けるとともに、地域の大人たちが指導者として活躍することで、地域全体で子ども達の安全と健やかな成長を支えることを目的としている。

内容

週2回、主に低学年を中心に、日頃学校や家庭では体験する機会の少ない茶道や舞踊の他、木工作や料理、体育館で遊ぶなど幅広い分野を指導し、子供の放課後の居場所づくりのための活動をしている。講師は主に村の芸術文化団体がボランティアとして活動に携わり、地域全体で子供の成長を見守る役割を担っている。また、ボランティア講師の方々の生きがいにも繋がっている。



ポイント

- ①下校時刻の早い曜日を活動日として、月ごとの活動内容を記載したチラシを学校を通じて配布。学童クラブにもチラシを配布し連携を図っている。
- ②定期活動以外に、長期休みの際には遠足や村の行事への参加など企画している。
- ③ボランティア講師の団体の代表者により実行委員会を組織し、年数回会議を開催し情報共有に務めている。

成果

- ・学校、学童クラブと連携をとり安全に活動が行われた。
- ・今年度活動途中（平成30年1月10日現在）であるが、前年度参加児童延べ人数をすでに超えており、子ども達からは満足して参加している様子が伺える。



今後の方向性

- ・子ども達が安心して安全に遊べる場とし、目的をもって活動できる教育的内容の充実を図る。（学童クラブとの差別化）
- ・指導者として地域住民の方に協力いただき、村全体で子供を見守り育てる環境づくり。